

小出裕章が語る 原発のない世界へ

8・12 脱原発社会をめざす
労働者集会

撮影：松岡広樹

- 講演 「放射能汚染の現実を超えて」 小出 裕章
(京都大学原子炉実験所助教)
- オープニングコンサート 姫野 洋三 さん (シンガーソング・ファーマー)
- 日時 8月12日(日) 13:00 開場 13:30 開演
- 場所 ティアラこうとう大ホール (東京都江東区) ■ 協力券 500円
- 主催 脱原発社会をめざす8・12労働者集会実行委員会
- 協賛 フォーラム平和・人権・環境 (平和フォーラム)

呼びかけ団体 ■ 全日本港湾労働組合 / 国鉄労働組合 / 全日本建設運輸連帯労働組合 / 全国一般労働組合全国協議会 / 東京清掃労働組合 / 全水道東京水道労働組合 / 東京都労働組合連合会 (順不同)

連絡先 ■ 全日本港湾労働組合 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館4階 電話 03-3733-8821 FAX 03-3733-8825

「昨年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちの生活を変えてしまいました。

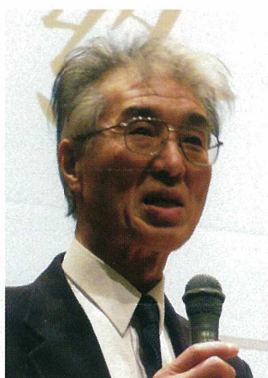
そして私たちは、そこで生きていくしかありません」

— 小出裕章

原発の再稼働を止めましょう。

私たちは、原発の電気はいりません。今だって、電気は足りています。

「原発のない世界へ」小出裕章さんが訴えます。



小出裕章

(京都大学原子炉実験所助教)
1949年生まれ、東北大学原子核工学科卒、同大学院修了。74年から京都大学原子炉実験所助教を務めながら、全国各地で反原発の訴えを続けている。



姫野洋三

(シンガーソング・ファーマー)
「唄う農民」と名乗るミュージシャン。youtube にアップされた原発批判の楽曲「若狭の海」が注目を集めている。CD「つながる生命」好評発売中。現在大分県杵築市在住。

3・11から1年あまり、私たちは「さようなら原発1000万人アクション」に取り組んできました。しかし、脱原発を実現するにはまだ運動の拡大が必要であることを実感しています。福島の実境を見つめるなら、一過性の運動の高揚であってはならないことも痛感しています。

原発は、正常に稼働しているときでさえ多くの労働者の「被曝労働」なしには動きません。福島原発事故で放射能がばらまかれた今、除染、ごみ焼却場などで被曝労働は広範に拡大しています。こうした被曝労働とも正面から向き合わなければなりません。

労働運動が自らの課題として、持続的な脱原発運動を担っていくことが脱原発実現のためには欠かせません。だからこそ、私たちは原発のない社会をめざし、労働者集会を呼びかけます。

2012年8月12日(日) 13:00 開場 13:30 開演

ティアラこうとう (大ホール)

東京都江東区住吉 2-28-36 TEL03-3635-5500

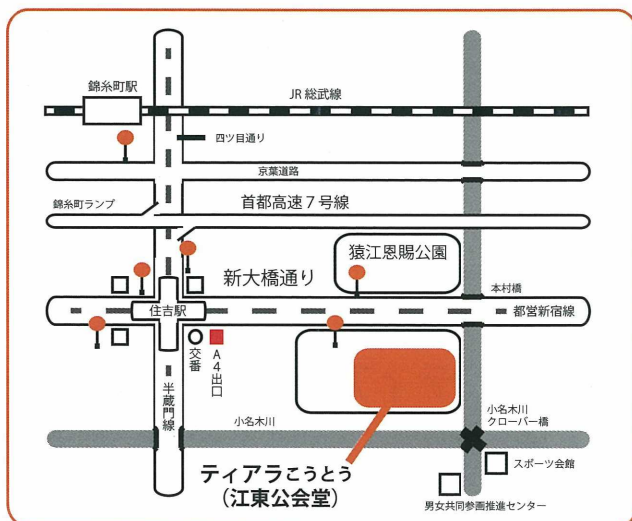
交通のご案内

■地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅下車

A4 出口より徒歩4分

■JR 総武線「錦糸町」駅下車

南口より徒歩15分



主催 脱原発社会をめざす8・12労働者集会実行委員会